

### コーポレートガバナンスの基本的な考え方

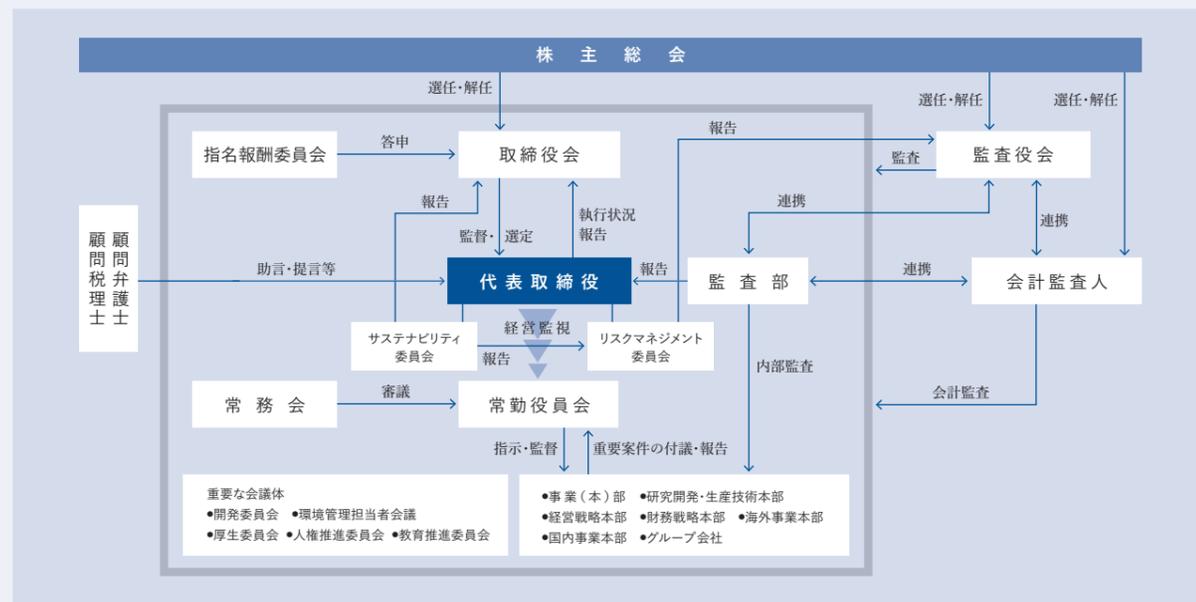
当社は、社是「我らの信条」に掲げる、よい自己（健康と品性を備えた健全な人格）、よい仕事（誠実と改善による製品と職場づくり）、よい貢献（恩恵に感謝する社会貢献）を創業の精神としています。この精神のもと、持続可能な社会の実現に貢献する企業経営を実践し、当社に関連する様々なステークホルダーから信頼されることが、自社の利益であると考えています。この効率的で健全な企業経営にはコンプライアンスが不可欠であると

認識し、企業活動の基本指針として制定した「企業倫理綱領」に基づいた行動実践に努めています。2022年4月に「内部統制システムの整備に関する基本方針」の一部を改定し、内部統制システムの整備、拡充に取り組んでいます。また、財務情報、非財務情報等を適正に作成し、適時に開示する内部統制システムの構築・運用が重要であると認識しており、そのための社内体制の一層の充実に努めています。

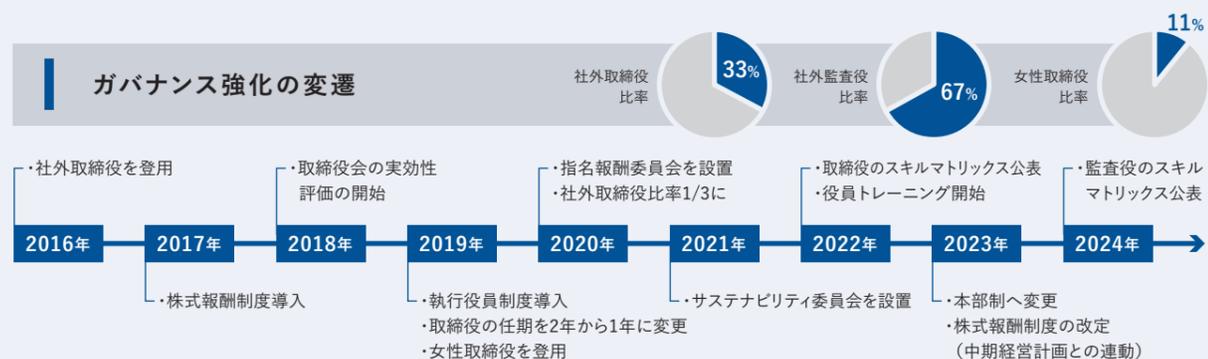
### コーポレートガバナンス体制

日東精工は監査役会設置会社によるコーポレートガバナンス体制を採用しています。また迅速な意思決定および業務執行体制の強化を図るべく、執行役員制度を導入しており、取締役、執行役員任期は1年と定めています。グループの経営に係る重要

事項については、常勤役員会を経て、取締役会で審議・決定しています。なお、常勤役員会には常勤の監査役も出席し意見を述べています。



### ガバナンス強化の変遷



### 適時開示体制

#### 1 当社および子会社の決定事実に関する情報

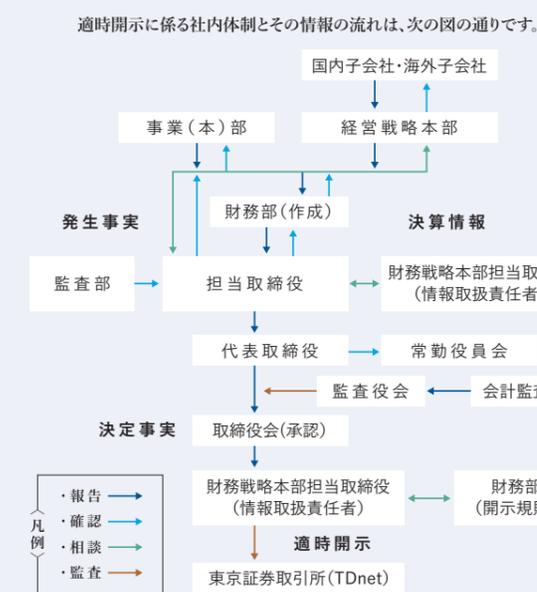
グループの経営に係る重要事項は、常勤役員会を経て取締役会で審議・決定しています。決定された重要事項は、適時開示規則に照らし、開示を要する「重要事実」にあたるかどうか財務戦略本部担当取締役を中心に検討し、適時迅速な開示(TDnet登録など)に努めています。

#### 2 当社および子会社の発生事実に関する情報

グループに重要事実が発生した場合、遅滞なく担当取締役へ報告がなされます。担当取締役は当該事実の確認および調査を行うとともに、情報取扱責任者である財務戦略本部担当取締役を中心に、開示を要する「重要な発生事実」にあたるかどうか検討します。さらに開示が必要との判断に至った場合は、速やかに開示(TDnet登録など)しています。

#### 3 当社および当社グループの決算に関する情報

グループ各社の月次決算の期初から期末までの年度累計に、必要な決算処理を施した各社の決算書などを基に、当社担当部門の財務部において、連結決算書を作成しています。作成された連結決算書および当社の個別決算書は、会計監査人や監査役会の監査を経て取締役会で承認された後、速やかに開示(TDnet登録など)し、当社ホームページにも掲載しています。



### 取締役会

構成	取締役9名（うち、社外取締役3名、女性取締役1名）、監査役3名
開催回数	14回（2023年12月期）
法令および定款に定める以外の主要な決議事項	① 営業方針の決定および変更 ② 重要な業務計画、事業予算の決定および変更 ③ 子会社の設立 ④ 重要な投融資の決定 ⑤ 重要な訴訟の処理、契約の締結

### 取締役会の実効性評価

日東精工では、取締役会の機能を向上させ、ひいては企業価値を高めることを目的に、取締役会の実効性について、自己評価・分析を実施しています。2024年1月に取締役会の構成員であるすべての取締役・監査役を対象にアンケートを実施しました。回答方法は外部機関に直接回答することで匿名性を確保しています。外部機関からの集計結果の報告を踏まえたうえで、2024年3月の定時取締役会において、分析・議論・評価を行いました。

実施方法	①対象者／全取締役会メンバー（取締役9名、監査役3名） ②評価方法／2023年1月に外部機関による無記名方式のアンケートを実施 ③分析・評価／外部機関がアンケートの結果に基づき取りまとめと分析を実施 ④報告と評価／2023年3月の取締役会において分析結果を報告し、分析・議論・評価を実施
質問概要	①取締役会の構成 ②取締役会の運営 ③取締役会の議論 ④取締役会のモニタリング機能 ⑤取締役・監査役に対する支援体制 ⑥トレーニング ⑦株主（投資家）との対話 ⑧自身の取り組み

**結果概要**  
アンケート回答からはおおむね肯定的な評価が得られており、取締役会全体の実効性については確保されていると認識しています。

**改善した点**  
これまでの評価で課題であった内部統制システム構築に関する方針に基づく子会社を含めたその構築・運用状況の監督においては、昨年組織体制を本部制に変更しグループ経営の管理力を強化したことにより、評価が改善しました。

**今後の課題**  
取締役会の機能のさらなる向上、議論や意見交換の活性化に向けた運営や環境の課題について共有しました。今後、当社の取締役会では本実効性評価を踏まえ、課題について十分な検討を行ったうえで迅速に対応し、取締役会の機能を高める取り組みを継続的に進めています。

### 取締役・監査役

氏名	役職(主な兼職・資格)	在任年数	指名報酬委員会	スキルマトリックス							
				企業経営・組織経営	法務・ガバナンス	財務・会計	技術・イノベーション	営業・マーケティング	海外事業・国際性	サステナビリティ・ESG	
材木 正己	代表取締役会長 兼 CEO	19年	委員長	●			●	●	●		
荒賀 誠	代表取締役社長 兼 COO 経営戦略本部本部長	6年	委員	●	●			●			●
山添 重博	取締役 兼 常務執行役員 研究開発・生産技術本部本部長、制御システム事業本部本部長	7年		●			●				●
上嶋 伸宏	取締役 兼 執行役員 メディカル新規事業部長	9年		●			●			●	
松本 真一	取締役 兼 執行役員 財務戦略本部本部長、国内事業本部本部長	6年			●	●				●	
浅井 基樹	取締役 兼 執行役員 ファスナー事業本部本部長	2年		●			●	●			
塩見 満	取締役【社外】(弁護士)	8年	委員		●	●					
平尾 一之	取締役【社外】(京都大学名誉教授)	7年	委員				●				●
勝見 九重	取締役【社外】(特定社会保険労務士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)	5年	委員		●						●
北谷 明	常勤監査役	3年			●	●			●		
森田 真一郎	監査役【社外】(ゲンゼ(株)監査役)	1年		●	●		●				
仲 雅彦	監査役【社外】((株)京都総研コンサルティング代表取締役社長)	-		●	●	●					
合計				7	7	4	6	4	3	4	

### 指名報酬委員会

取締役および執行役員の指名、報酬等に関する手続きの公平性、透明性、客観性を強化し、コーポレートガバナンスの充実に図るため、取締役会の諮問機関として指名報酬委員会を設置しています。

構成	取締役5名(うち、社外取締役3名) 委員長:代表取締役会長
開催回数	3回(2023年12月期)
主な審議事項	① 取締役の選任・解任(株主総会決議事項)に関する事項 ② 代表取締役の選定・解職に関する事項 ③ 役付取締役の選定・解職に関する事項 ④ 執行役員の選任・解任に関する事項 ⑤ 代表取締役および取締役の後継者計画(育成を含む)に関する事項 ⑥ 取締役・執行役員の報酬等に関する事項。必要な基本方針、規則および手続等の制定、変更、廃止 ⑦ 取締役の報酬限度額(株主総会決議事項)に関する事項 ⑧ その他経営上の重要事項で、取締役会が必要と認めた事項

### 役員報酬

社内取締役の報酬は基本報酬、業績連動報酬、非金銭報酬で構成しています。非金銭報酬は業績連動型株式報酬制度を導入しています。業績連動型株式報酬制度においては、中期経営計画「Mission G-second」の目標達成度に応じポイントを付与し、当社が設定する信託を通じて当社株式を付与しています。社外取締役の報酬はその職務に鑑み、基本報酬のみとしています。



### 後継者育成

後継者の育成は経営における重要事項であると考えており、必要な知識や情報を分析し研修を行っています。新任取締役に対しては、会社法や取締役の責務についての研修を実施しています。執行役員・取締役を対象とした役員トレー

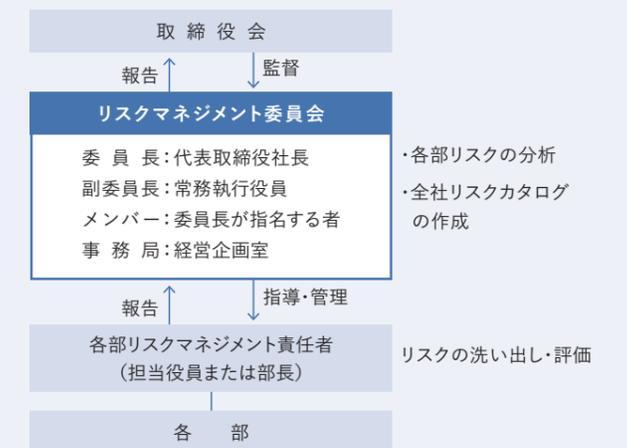
ニングは、経営計画、経営戦略、資本政策、サステナビリティ、グループガバナンスなどについて研修を行っており、必要に応じて子会社役員も参加しています。また、次期経営者育成のための選抜トレーニングも実施しています。

### リスクマネジメント

リスクマネジメント委員会は、事業において想定されるリスク対策の分析と評価を定期的実施し、各部署に周知しています。また、持続可能な環境や社会を阻害する課題も自社のリスクとして捉え、サステナビリティ委員会と連携し管理を行っています。

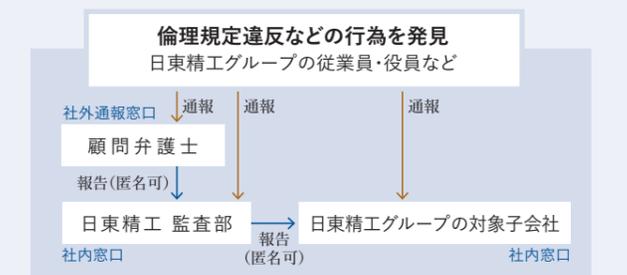
#### ■ 想定するリスク

- ① 財政に関するリスク
- ② 法令等の遵守に関するリスク
- ③ 労務に関するリスク
- ④ 業務に関するリスク
- ⑤ 災害等に関するリスク
- ⑥ 情報システムに関するリスク
- ⑦ その他、①~⑥に準ずるリスク



### コンプライアンス

コンプライアンス違反行為の早期発見と是正のため、日東精工グループの役員・従業員が利用できる内部通報窓口を設けています。窓口は社内・社外にそれぞれあり、社内は日東精工の監査部または子会社の代表部署、社外は顧問弁護士事務所が窓口となっています。社外窓口への通報の際には会社への報告を匿名に希望することが可能で、個人のプライバシーにも配慮しています。



### 政策保有株式

企業価値を向上させるための中長期的な視点に立ち、事業戦略上の重要性、今後の営業展開、事業上のシナジーなどを総合的に勘案し、政策的に必要とされる株式を保有しています。保有株式については、原則として会計年度毎に経済合理性の視点も含めて取締役会において検証し、保有の意義が希薄と考えられる株式については、縮減していく方針です。

※みなし保有株式の増加は株価上昇に伴う時価増大によるものであり、銘柄数は売却により減少。  
※当社議決権行使基準に基づき、コーポレートガバナンス等の観点から議決権行使を判断。

#### 政策保有株式の推移



社外取締役(独立)  
■ 平尾 一之  
京都大学名誉教授

社外取締役(独立)  
● 塩見 満  
弁護士

社外取締役(独立)  
◆ 勝見 九重  
特定社会保険労務士  
産業カウンセラー  
キャリアコンサルタント

## 取締役会の実効性評価について

当社の取締役会の雰囲気や、議論を含めた運営についての評価を聞かせてください。

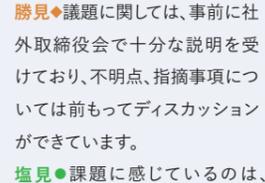
塩見●私は他社の非常勤監査役も兼任していますが、当社の取締役会は自由に意見が言える雰囲気であると感じています。社外取締役会を通じて、審議内容の事前提示や資料についての事前の説明も受けているため、取締役会での審議にスムーズに入ることができています。

平尾■そうですね。昨今は施策一つを審議する上でも、ESG等の様々な観点から確認していく

ことが求められます。当社は、社外取締役の専門分野が分かれているため、議題に対してもバランスよくそれぞれの視点から意見を述べられていると思います。

勝見◆議題に関しては、事前に社外取締役会で十分な説明を受けており、不明点、指摘事項については前もってディスカッションができています。

塩見●課題に感じているのは、



長期的な収益に影響を与える案件についての議論の進め方です。方向性を検討する段階から報告事項として取締役会で取り上げ、段階的に検討することで、最終的に審議するときの意見交換も充実するのではないかと感じます。

勝見◆確かに、議題や報告事項が多い場合などは、短時間のセッションでは難しいと感じる場合もあります。その場合は別日に議論の場を設ける、議題・報告事項を絞るなどの対応を考えてもよいかもしれません。

## 社内役員とのコミュニケーションについての評価を聞かせてください。

平尾■会長、社長をはじめ、社内役員とは定期的に面談の機会があります。私は毎月1回程度、研究開発部と主宰する研究会を開催しています。取締役会の場以外で、研究開発担当執行役員と課題や方向性に関する情報交換がとれるほか、研究員と直に接することで、技術的な情報だけでなく、職場の雰囲気やスキルを把握できるので、取締役会においてもより実態に沿った助言や審議ができます。

勝見◆他にも社内管理職とのランチミーティングなどを通じてコミュニケーションを図っていますね。組織運営における様々な考え方や悩みを聴くことで、働き方改革やダイバーシティなどについて、現場に寄り沿った助言ができます。今後は現場視察や管理職層とのコミュニケーションの機会をさらに増やし、社内だけに依存しない立場だからこそ



できる確かな助言をしていきたいと思っています。  
塩見●社外取締役という性質上、コミュニケーションの機会はどうしても短時間になりがちですね。今回の鼎談だけでなく、取締役以外の執行役員も含め各人の考えを互いに確認できる機会があると、コミュニケーションはさらに進み、今まで以上に活発な意見が出しあえる取締役会につながると思います。

## 2022年より取締役と執行役員を対象とした「役員トレーニング」を開始し、実効性評価においてトレーニングの機会に関する評価が改善しました。トレーニングの効果や参加された感想を聞かせてください。

塩見●トレーニングの内容は、SDGs、ESG、資本政策、グループガバナンスなど充実したプログラムで、大変参考になります。今後も継続することが重要だと思います。

平尾■自分の専門分野以外の内容について

営者の視点で知識を深められるのがよいですね。私は当社以外で企業経営の経験がないため大変参考になります。

勝見◆役員間の共有言語習得、共通認識のためにも必要と考えます。現在はプログラムの内

容に応じて、当社の役員だけでなくグループ会社の経営者層や部長層などが同席することもありますね。オンライン等を活用し、部長以上、グループ会社経営層などに対しては毎回実施すればよいと考えています。

## 平尾取締役にお伺いします。当社の研究開発、環境戦略に関してこれまでにされた助言や事業活動への支援を聞かせてください。

平尾■先ほど述べたとおり、毎月1回程度、研究開発部と主宰する研究会を開催しています。その研究会からこれまでにさまざまな成果が得られています。

①異種金属接合AKROSEの密着強度の増加とそのメカニズム解明への貢献

②マイクロバブル発生装置の新規用途開発と販路拡大への貢献

③流量計の腐食防止のための新材料の選択と実機への搭載実現

④各種ねじ表面の原子レベル電顕観察による強度設計指針への知見付与

また、以下の内容は現在進行中です。  
⑤有機溶剤リサイクル回収装置の開発とそれへの防爆装置(開発済み)の搭載  
研究者としての知見やネットワークを活かした助言を行っています。

## 勝見取締役にお伺いします。当社の人財戦略に関してこれまでにされた助言や事業活動への支援を聞かせてください。

勝見◆当社の強みは、人財戦略の根幹に社是「我らの信条」が息づいているところだと思っています。グループ全体に「我らの道」「我らの信条」の解説本を配布し、企業理念をかみ砕いて伝え、創立月間での理念教育や昇格試験での出題を通じて社員の職務や行動に落とし込んでいる点は、他社には見られない徹底した取り

組みであると評価しています。また、健康経営銘柄、ホワイト500、スポーツユールカンパニーなどの外部認定を受けていますが、これらの取り組みは人財活躍の根幹であると認識しています。それらをさらに発展させる



ため、キャリアコンサルタントの資格を活かした若年者のキャリア教育や女性リーダー層へのキャリア面談などのプログラムの講師を実際に担当し、社員と直接つながりをもっています。また、ハラスメントにおいては、予防的措置を含めてグループでの教育を実施しています。

## 中期経営計画達成に向けて

### 当社の今後の課題について、自身の専門分野を中心に聞かせてください。

#### 財務戦略、グループガバナンス

塩見●当社は2023年に資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、今後の方針を開示しました。営業利益率、資本収益性、資本市場との対話が課題であると分析し、中期経営計画の戦略テーマごとに施策を展開しています。財務面では、CMSによるグループ資金の一元管理を行い、引き続き有利子負債の圧縮を進めました。これにより今後資金を有効に活用し機動的に事業運営が行えると考えています。一方、近年のM&Aで子会社が増えており、連結決算や内部監査への影響度も高まっているので、基本的な処理方針等で整合性をさらに充実させる必要があると感じています。

#### 研究開発・環境戦略

平尾■日東精工の強みは、締結、検査、計測とこれまでに蓄積された独自のモノづくり技術の開

発力を駆使して、社会ニーズに応じた新たな製品の上に向けた研究開発をたゆまず行っているところだと感じています。近年、地球規模での環境課題への取り組みが企業価値を決める時代に入ってきました。環境ビジネスを今後もっと伸ばすべきであると感じています。当社でもカーボンニュートラルに向けた環境対策に真摯に取り組んでいます。例えば、現在イーセップ社と業務提携し開発中の「有機溶剤リサイクル回収装置」や、太陽光発電設備の新設、インフラ改善による電力、運送費の削減などの取り組みは今後さらに進めていくべきでしょう。

#### 人財戦略

勝見◆2023年に人事制度を見直し主任登用制度を導入しました。若年層のうちからリーダーとしてのマネジメント経験を積ませる制度の新設に一定の評価をしています。

一方、これからの課題として捉えているのは、海外展開を進めていく上でのグローバルリーダーの育成を、グループ全体で実施していくことです。そのためのプログラムの充実にはさらに図っていくべきと考えます。もう1点はDE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)の推進です。日本のジェンダーギャップ指数は146ヶ国中125位です(2023年6月発表数値)。これは男女の埋まらない格差を浮き彫りにする結果となりました。当社においても女性管理職登用の目標数値を掲げ、取り組みは実施していますが、キャリア支援や研修の実施を含めて、さらに推進していかなければならないと考えています。女性に限らず、LGBTQ+や多文化共生、育児者・介護者支援、障がい者雇用など多様な人財の活躍が、イノベーション向上にもつながっていくと考えます。

社外取締役にはそれぞれの知見を活かし、経営や事業戦略への助言やコーポレートガバナンス推進など、会社経営に対し客観的な立場での意見、経営の透明性を高めるための責務を果たしていただいています。各専門分野における担当部署の管理職とは面談やミーティング、研修会において助言、評価を常日頃より行い、「今後の課題」となっている項目についても、スピード感をもって実行するようにしています。

特に「取締役会の関連な議論」「役員トレーニング」については、①事前資料提供の実施 ②役員トレーニング、コミュニケーションの実施など具体的な対応を進めています。継続して取締役会における実効性のさらなる向上を進めていきます。

代表取締役社長 兼 COO  
荒賀 誠



取締役

取締役

監査役

										
氏名	材木 正己	荒賀 誠	山添 重博	上嶋 伸宏	松本 真一	浅井 基樹		塩見 満	平尾 一之	勝見 九重
役職・担当・資格	代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者)	代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者) 経営戦略本部 本部長	取締役 兼 常務執行役員 研究開発・生産技術本部 本部長 兼 制御システム事業本部 本部長	取締役 兼 執行役員 メディカル新規事業部長	取締役 兼 執行役員 財務戦略本部 本部長 兼 国内事業本部 本部長	取締役 兼 執行役員 ファスナー事業本部 本部長		社外取締役(独立) 弁護士	社外取締役(独立)	社外取締役(独立) 特定社会保険労務士 産業カウンセラー キャリアコンサルタント
選任理由	2013年3月から当社の代表取締役社長を務め、2023年3月からは代表取締役会長に就任し、CEOとして強いリーダーシップと決断力をもって長期ビジョン、中期経営計画の達成に向け、当社グループの経営を牽引しています。企業経営や国内外の業界における高い知見をもって、当社の経営ビジョン「世界中で認められ、求められる『モノづくりソリューショングループ』を目指す」の実現への役割を担います。	2023年3月から代表取締役社長に就任し、COOとして経営全般の管理・監督機能を担っています。また、経営戦略本部本部長として、中期経営計画の達成、サステナビリティ経営、ガバナンス強化、創業理念に基づく地方創生や健康経営の推進など多岐にわたる中核的役割を担っており、当社グループの牽引役としての役割を担っています。	制御システム事業本部経営を通じて、計測検査業界における高い知見を有しています。また、研究開発および生産技術部門担当として、各研究テーマの推進および新事業の開発や地球環境の向上を図るためのリーダーシップを發揮しています。中期経営計画における制御事業の拡大、事業活動すべてにおける環境対応、革新的な研究開発への役割を担っています。	ファスナー事業本部経営および海外グループ会社経営で培われたイノベーション感覚・国際感覚を活かし、医療分野における新たな事業の推進にリーダーシップを發揮しています。中期経営計画におけるメディカル事業の拡大に向け、医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料の実用化、医療機器開発などの役割を担っています。	経理・財務に関する幅広い知見を活かし、当社グループの経営に財務面で貢献する一方、国内拠点管理の改善およびガバナンス体制の強化にリーダーシップを發揮しています。中期経営計画における財務戦略、国内拠点における事業拡大支援への役割を担っています。	長年の営業経験による締結業界における高い知見と高度な情報収集力を活かし、ファスナー事業の成長に貢献しています。また、グループ全体の協業による事業領域の拡充にリーダーシップを發揮しています。中期経営計画におけるファスナー事業の拡大、グループの最適化による経営効率の向上への役割を担っています。		法務・会計・税務に関する高度な専門的知見を活かした的確な助言をいただいています。また、指名報酬委員会の委員として、取締役の指名・報酬の決定プロセスや最高経営責任者等の後継者計画において客観的な視点で監督機能を果たしていただいています。今後は、取締役会の透明性確保に加え、知財および財務戦略に関する助言をいただきます。	社外取締役となること以外に直接企業経営に関与された経験はありませんが、多くの団体の筆頭者としての経験と大学教授としての豊富な知見を活かした的確な助言をいただいています。また、指名報酬委員会の委員として、取締役の指名・報酬の決定プロセスや最高経営責任者等の後継者計画において客観的な視点で監督機能を果たしていただいています。今後は、取締役会の透明性確保に加え、市場のマテリアリティに貢献できるモノづくり・知財戦略に関する助言をいただきます。	企業の経営戦略としてのメンタルヘルスやワークライフバランスを取り入れた人材コンサルティングを展開されており、女性の活躍促進に向けた的確な助言をいただいています。また、指名報酬委員会の委員として、取締役の指名・報酬の決定プロセスや最高経営責任者等の後継者計画において客観的な視点で監督機能を果たしていただいています。今後は、取締役会の透明性確保に加え、組織の活性化を図るための人的資本経営に関する助言をいただきます。
重要な兼職の状況	NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD. 取締役会長 京都工業会 常任理事 綾部商工会議所 会頭 株式会社舞鶴21 代表取締役社長	旭和螺絲工業股份有限公司 副董事長 PT. NITTO ALAM INDONESIA コミサリス PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING コミサリス 九州日東精工株式会社 取締役 京都経営者協会 副会長 一般社団法人 綾部工業研修所 理事長	株式会社ニッセイ 取締役 日東精工アナリテック株式会社 取締役	株式会社伸和精工 取締役 日東精工アナリテック株式会社 取締役 日東精密螺絲工業(浙江)有限公司 監察人 旭和螺絲工業股份有限公司 監察人 NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION 執行役員 九州日東精工株式会社 監査役 株式会社エフエムあやべ 取締役 株式会社水夢 取締役	株式会社伸和精工 取締役 ケーエム精工株式会社 取締役 旭和螺絲工業股份有限公司 董事 NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD. 取締役 MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD. 取締役 PT. NITTO ALAM INDONESIA 取締役	株式会社協栄製作所 取締役 ケーエム精工株式会社 取締役 旭和螺絲工業股份有限公司 董事 NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD. 取締役 MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD. 取締役 PT. NITTO ALAM INDONESIA 取締役		塩見法律事務所 弁護士 社会福祉法人 空心福祉会 理事 舞鶴倉庫株式会社 非常勤監査役	京都グリーンケミカル・ネットワーク 会長 京都大学 名誉教授 (公財)京都市成長産業創造センター センター長 (公財)京都市桂イノベーションセンター センター長	勝見社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 株式会社スリー・バイ・スリー 代表取締役

				
氏名	北谷 明	森田 真一郎	仲 雅彦	氏名
役職・担当・資格	常勤監査役	社外監査役(独立)	社外監査役(独立)	役職・担当・資格
選任理由	2021年3月に監査役に就任し、当社での内部監査業務で培った見識およびコンプライアンスを含めた企業人としての幅広い知見をもとに、当社の監査、監督業務を適確に遂行しています。	グンゼ株式会社の執行役員を歴任され、現在はグンゼ株式会社の監査役を務められています。その豊富な経験と幅広い知見を当社の監査業務の健全性・透明性の向上に活かしていただいています。	金融機関における長年の経験から企業金融に関する高度な知見を有しており、独立した立場から当社の監査業務の健全性・透明性の向上に活かしていただいています。	選任理由
	日東公進株式会社 監査役 東陽精工株式会社 監査役 株式会社ファイン 監査役 日東精工SWIMMY株式会社 監査役	グンゼ株式会社 監査役	株式会社京都総研コンサルティング 代表取締役社長	重要な兼職の状況

執行役員

氏名	役職・担当・資格	重要な兼職の状況
石原 雅和	執行役員 日東精工アナリテック株式会社 取締役	
小雲 康弘	執行役員 海外事業本部 本部長 兼 グローバル戦略部長 兼 産機事業本部 海外販売部長	日東公進株式会社 代表取締役社長 旭和螺絲工業股份有限公司 董事 NITTO SEIKO(THAILAND)CO., LTD. 取締役 THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD. 取締役 MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD. 取締役 PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING 取締役
桐村 和也	執行役員 産機事業本部 本部長	日東公進株式会社 取締役 旭和螺絲工業股份有限公司 董事 THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD. 取締役 NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION 執行役員
上原 規	執行役員 ファスナー事業本部 副本部長	